

## 令和元年度 第2回大野市人口減少対策会議 議事メモ

日時：11月7日(木) 10時30分～午12時10分

場所：結とぴあ 302号室(3階)

○出席委員 全27名中19名

○石山市長、田中副市長、政策局長、民生環境部長(代理：福祉こども課長)、  
産経建設部長、産経建設部理事、教育委員会事務局長、消防長、総合政策課員(事務局)

(真田総合政策課長の司会進行により午前10時30分開始。大野市役所における働き方改革の一環として、会議時間の終了予定を正午とし、活発な意見交換を依頼)

10:30開会

### 1 市長あいさつ

- ・今年度も半分以上が経過したが、全国的に台風などによる大災害が多発した。本市では、先日、県防災訓練を実施し、災害時の対応手順を確認することができた。
- ・また、県内では豚コレラの発生や熊の出没などが相次いでいるが、本市では先日、狩猟フォーラムを開催し、市民の安心安全を守ることを確認した。
- ・そのような中、明るいニュースとして、先月、新しい道の駅の起工式が行われた。また、名称は「越前おおの 荒島の郷」に決定した。皆様の協力により、着実に進めていきたい。

### 2 開会

(南保委員長あいさつ)

- ・先日、大野市を訪れ、亀山に登ったり、まちなかを散策したりした。市内に活気が出てきていると感じた。
- ・一方、全国的には厳しい経済状況にあり、2030年までの経済成長は0%台が続くと予測されている。労働人口の減少が大きな課題であり、この克服にはイノベーションの力が必要。大野市のイノベーション力は向上してきていると感じており、今後に期待している。

### 3 報告確認事項

(1) 委員等紹介(欠席報告)

※事務局より交代委員の紹介、欠席委員の報告、福井県未来戦略課の紹介

※別紙委員名簿のとおり

#### 4 協議および説明事項

##### (1) 平成30年度の取組状況に対する評価と意見について

(事前に送付した「大野市総合戦略 平成30年度の取組状況に対する評価と意見」について説明後、質疑応答)

(説明概要)

- ・昨年度の評価と比べると、施策1では、B評価が増えている。ハード整備が進む中で、企業の人手不足への対応策が必要との意見が多かった。
- ・施策2では、A評価が増えている。しかし依然としてB評価が最も多く、観光と移住定住の両面での更なる取組みが必要との意見があった。
- ・施策3では、わずかにA評価が増えた。「若い人をほっとさせてあげられるような施策」や「人の原点に立ってみんなで助け合うこと」が大切という意見があった。
- ・施策4では、B評価が増えている。「結を前面に出しているなら一番達成しなければならない項目である」という印象的なご意見があった。
- ・新たな総合戦略並びに総合計画における今後のキーワードとして、施策1では、「あらゆる産業分野での担い手確保、人材育成」、施策2では、「海外誘客の促進」と「若者の流出阻止と定住促進」、施策3では、「子育て世代に対する、さまざまな観点での支援」、施策4では、「世代、グループ、地域などにおける「つながり」の再認識」が浮かび上がった。

(質疑)

委員長：全体としてC評価が減り、良い方向へ向かっている。まちが活気付き、訪れる人の満足感も上昇していると思う。

##### (2) 専門部会の報告について

(当日配布した資料「大野市人口減少対策会議専門部会 ブランド部会 報告書」及び「大野市人口減少対策会議専門部会 少子化対策部会 報告書」について説明後、質疑応答)

(説明概要)

- ・別添報告書のとおり説明

(質疑)

委員：今年もブランド部会に参加し、回遊性の向上について議論した。各種団体、市民、事業者を巻き込み、市内にある多くの財産をブラッシュアップすることで、回遊性を高められると感じた。新しい道の駅は本当のチャンスであるので、それぞれの立場で参画してもらいたい。

委員長：ひとりひとりが主役となることでパワーとなる。

委員：ブランド部会の報告について、よくまとめられており感心した。中部縦貫自動車道が延伸すると、恐竜博物館を目的地とする観光客が最も多くなると思う。大野市内から恐竜博物館までの道路環境を整えることが重要。また、親子連れの客が多いので、遊べることも大切。道の駅周辺で、カヌーやトレッキングなど本格的なアクティビティをできるようにすることが大事。道の駅

での物産はスーパー型になるかと思うが、新鮮で無農薬の野菜が多くあることが大事。モンベルが出店すると聞いているが、県内初出店ということ、県内を重点的にPRするべき。また、登山客などが忘れ物を購入できるように、小物などを取り揃えておくべき。また、キャンピングカーでの旅行が流行っているので、キャンピングカーでゆっくり休める環境があると良い。

委員長：両部会とも洗練された報告をいただいた。提案に対して、どうリアリティを持たせていくかが大事。

### (3) 次期総合戦略について

(福井県未来戦略課より、当日配布した資料「国および福井県にける地方創生の取組みについて」について説明後、事務局から「大野市総合計画と大野市総合戦略の策定スケジュール(案)」について説明し、質疑応答)

(説明概要)

- ・現在、令和3年度からの新たな総合計画の策定に向けて取り組んでいる。総合戦略は、総合計画から地方創生・人口減少対策に資する施策をまとめたものなので、総合計画との関係は切り離せない。そのため、次期総合戦略の始期は次期総合計画と合わせたいと考えており、KPIの再設定などをした上で、現行の総合戦略を1年間延長することについて、委員の皆様のご同意をいただきたい。

(質疑)

委員長：今の総合戦略を1年延長することについて、ご異議ございませんか。

※全会一致で承認

委員長：人口減少対策会議の任期も1年間延長となるので、引き続きよろしくお願ひしたい。国・県の総合戦略について、男性の若者の流出が増えている。元々女性の流出も多かったが、これらにどう対処するかが課題。いずれにしても、総合戦略の第1期が今年度で終わり、ターニングポイントを迎える。委員の皆様も意見があれば、県や市に意見を寄せていただきたい。

## 5 その他

なし

## 6 閉会

(南部副委員長あいさつ)

- ・本日、部会の報告として、道の駅の活用策についてプランをいただいた。今後、手探りで実行していかなければならない。安全、災害の少なさ、自然の良さを大野市の売りとして、PRしていきたい。

12:10閉会

【会議資料】

令和元年度第2回大野市人口減少対策会議次第

大野市人口減少対策会議委員名簿

資料1：大野市総合戦略平成30年度の取組状況に対する評価と意見

（参考）大野市総合戦略平成29年度における取り組み状況報告

資料2-1：大野市人口減少対策会議専門部会ブランド部会報告書

資料2-2：大野市人口減少対策会議専門部会少子化対策部会報告書

資料3：大野市総合計画と大野市総合戦略の策定スケジュール（案）

（参考）国および福井県における地方創生の取組みについて